

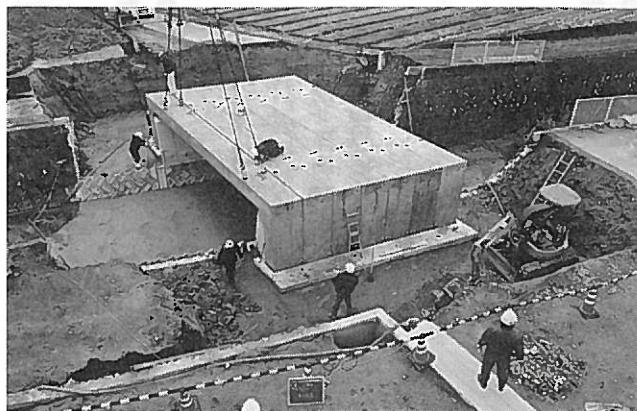
四国初の斜角門形

香川県観音寺市内で施工

コンケン
和カン

斜角門形カルバート工法研究会（会長＝岩佐隆氏）が全国で普及を行っている「斜角門形カルバート」の四国で初となる施工が12月27日、香川県観音寺市で行われた。

会員社の共和コンクリート工業（本社、札幌市北区八条西三丁目、社長＝本間文士氏）が観音寺市大野原町萩原、社長＝石川利勝氏）所発注の橋梁架け替え工事（市道丸井南連絡線道路改築工事）に納入したもので、製品製造は会員社のカンケン（本社、香川県観音寺市大野原町萩原、社長＝石川利勝氏）



午前中に部材設置が完了した

河川との交差角は76度、道路幅員（地覆含む）は6・2mで、7個の部材を使用。製品重量は1個約15トン（耐荷重はT-25）で総納品重量は104トン。大型トレーラーで製造工場から現場まで運搬し、前日に現場で組み立てた400トントン（耐荷重はT-25）で総納品重量は104トン。大型トレーラーで製造工場から現場まで運搬し、前日に現場で組み立てた400トントン（耐荷重はT-25）で総納品重量は104トン。大型トレーラー

河川との交差角は76度、道路幅員（地覆含む）は6・2mで、7個の部材を使用。製品重量は1個約15トン（耐荷重はT-25）で総納品重量は104トン。大型トレーラー

河川との交差角は76度、道路幅員（地覆含む）は6・2mで、7個の部材を使用。製品重量は1個約15トン（耐荷重はT-25）で総納品重量は104トン。大型トレーラー

北海道から九州まで豊富な施工実績を有しているが、四国での実績は今回が初めて。今回の観音寺市での実績を踏まえ、共和コンクリート工業とカンケンの両社は四国4県の県、市町村の中河川や農業用の用・排水路などに架かる老朽化した橋梁を対象に、斜角門形カルバートの提案営業を推進する考えだ。

当日、午前中には部材7個の設置が完了し、既設小河川に斜角門形カルバートによる橋が架かった。この後、斜角門形カルバートの両側を埋戻し防護柵の設置や舗装を行い、供用を開始する。

斜角門形カルバートは、プレキャスト門形カルバートと現場打ち基礎コンクリートからなる工法で、道路と水路との交差角を90度から60度まで自由に設定できる斜角対応型製品。平成15年に研究会が発足し、これまでに全国で約400件の実績がある。近年は橋長10



エスピック大賞を受賞した秋澤栄祐商店の作品

エスピック（本社、群馬県高崎市箕郷町上芝、社長＝柳澤佳雄氏）は、全国のエクステリア・ガーデン施工店を対象に行つた「エスピック施工写真コンテスト2019」の審査結果を発表した。

応募総数2337点のうち、一次審査を通過した671点の中から、エクステリア学会の吉田克己（会員）をはじめとする外部有識者による審査員5名が入賞作品87点を

m以下の小規模橋梁の架け替え、道路拡幅や歩道拡幅・設置工事などでも実績がある。既設水路を撤去せず「かぶせる」構造のため、一般橋梁のように水替えなどの仮設工が不要で、通水したまま架設が可能。季節を選ばず工期短縮や省力化に寄与することから、人手不足に悩む土木業界で注目を集めている。

北海道から九州まで豊富な施工実績を有しているが、四国での実績は今回が初めて。今回の観音寺市での実績を踏まえ、共和コンクリート工業とカンケンの両社は四国4県の県、市町村の中河川や農業用の用・排水路などに架かる老朽化した橋梁を対象に、斜角門形カルバートの提案営業を推進する考えだ。

当日、午前中には部材7個の設置が完了し、既設小河川に斜角門形カルバートによる橋が架かった。この後、斜角門形カルバートの両側を埋戻し防護柵の設置や舗装を行い、供用を開始する。

斜角門形カルバートは、プレキャスト門形カルバートと現場打ち基礎コンクリートからなる工法で、道路と水路との交差角を90度から60度まで自由に設定できる斜角対応型製品。平成15年に研究会が発足し、これまでに全国で約400件の実績がある。近年は橋長10

四国コンクリート製品協会（会長＝石川利勝氏）は1月31日15時から、ホテルパールガーデン（香川県高松市）で、2020年四国ブレ

スクリーン（長野県）「インターアクシングブロック」、鍋屋金物店一級建築士事務所（福島県）「土留め擁壁」、アーバンシステム（東京都）「空間提案（ブレイバートガーデン）」、ミサワホーリングシステム（東京都）「空間提案（ブレイバートガーデン）」、新製品・その他

吉野建築設計事務所（群馬県）「ビフォーアフター」森造園（北海道）。審査委員長を務めたエクステリア学会の吉田会長は、「審査会では大きく分けて、二つの点に着目して審査を行つた。まず、安心・安全な施工に配慮した作品を選んだ。控え壁がなかつたり、透かしブロックの使い方が間違つていていたりする現場があることを踏まえた選考だ。この後、写真集が発行されると思うが、安心・安全な施工への啓蒙を期待している。

次に調和だ。商材と緑、商材と建物、壁材と床材、ソフトなものとハードなどを組み合わせた相乗効果で、お互いの良さを引き出した作品が受賞していると思う。さまざまな商材の開発が進みバリエーションも増えているが、商材を上手にコーディネートした受賞作品が多数あるので、是非参考にして欲しい」と講評した。

【れんが】泉緑化（宮城県）「天然石」が最も優れた作品に贈られるエスピック大賞には、天然石の「ジャワ鉄平・乱形」を使った秋澤栄祐商店（栃木県）の作品が選ばれた。ジャワ鉄平は、インドネシア・ジャワ島産の鉄平石。浅茶色のシックな色調が特長で、天然石ならではの重厚感のある雰囲気は気品と落ち着きを醸し出す。

各部門別の最優秀賞は次の通り。

【れんが】泉緑化（宮城県）「天然石」

エスピック（本社、群馬県高崎市箕郷町上芝、社長＝柳澤佳雄氏）は、全国のエクステリア・ガーデン施工店を対象に行つた「エスピック施工写真コンテスト2019」の審査結果を発表した。

応募総数2337点のうち、一次審査を通過した671点の中から、エクステリア学会の吉田克己（会員）をはじめとする外部有識者による審査員5名が入賞作品87点を

四国コンクリート製品協会（会長＝石川利勝氏）は1月31日15時から、ホテルパールガーデン（香川県高松市）で、2020年四国ブレ

スクリーン（長野県）「インターアクシングブロック」、鍋屋金物店一級建築士事務所（福島県）「土留め擁壁」、アーバンシステム（東京都）「空間提案（ブレイバートガーデン）」、ミサワホーリングシステム（東京都）「空間提案（ブレイバートガーデン）」、新製品・その他

吉野建築設計事務所（群馬県）「ビフォーアフター」森造園（北海道）。審査委員長を務めたエクステリア学会の吉田会長は、「審査会では大きく分けて、二つの点に着目して審査を行つた。まず、安心・安全な施工に配慮した作品を選んだ。控え壁がなかつたり、透かしブロックの使い方が間違つていていたりする現場があることを踏まえた選考だ。この後、写真集が発行されると思うが、安心・安全な施工への啓蒙を期待している。

次に調和だ。商材と緑、商材と建物、壁材と床材、ソフトなものとハードなどを組み合わせた相乗効果で、お互いの良さを引き出した作品が受賞していると思う。さまざまな商材の開発が進みバリエーションも増えているが、商材を上手にコーディネートした受賞作品が多数あるので、是非参考にして欲しい」と講評した。

【れんが】泉緑化（宮城県）「天然石」

エスピック（本社、群馬県高崎市箕郷町上芝、社長＝柳澤佳雄氏）は、全国のエクステリア・ガーデン施工店を対象に行つた「エスピック施工写真コンテスト2019」の審査結果を発表した。

応募総数2337点のうち、一次審査を通過した671点の中から、エクステリア学会の吉田克己（会員）をはじめとする外部有識者による審査員5名が入賞作品87点を

四国コンクリート製品協会（会長＝石川利勝氏）は1月31日15時から、ホテルパールガーデン（香川県高松市）で、2020年四国ブレ

スクリーン（長野県）「インターアクシングブロック」、鍋屋金物店一級建築士事務所（福島県）「土留め擁壁」、アーバンシステム（東京都）「空間提案（ブレイバートガーデン）」、ミサワホーリングシステム（東京都）「空間提案（ブレイバートガーデン）」、新製品・その他